

崇城大

「光合成細菌」で起業

院生ら 培養キット開発・販売

崇城大(熊本市西区)

は2日、同大学院生

科の古賀碧さん(24)が
社長に就任。古賀さん

教員1人が社員となっ
た。

らが農作物などの成長
効果が期待される光合
成細菌の培養キットを
開発・販売するベンチ
ャー企業「Ciamo」
(シアモ)を設立した、
と発表した。

らの学生グループは同
大部活動「起業部」で、
この培養キットを開
発。昨年3月の大学発
ベンチャーの全国コン
テストで最優秀賞を受
賞した。

シアモが主に扱う商
品は光合成細菌を焼酎
粕かすを使って安価に培養
するキット。同様の市
販品の半額程度で販売
する予定だという。今
後5年で売り上げ10億
円を目指す。

同大学院工学研究

学内の起業に関する

審査で「出資に値する」

と判断され、大学側が

光合成細菌は農作物

1200万円の出資を

の生育促進や味をよく

決定。株式会社として

する効果のほか、家畜

今年4月末に設立し、

や魚の成長も促すとさ
れている。古賀さんは

と話している。

古賀さんら学生4人、

「シアモの活動を通じ

て、熊本の農業や水産、
畜産業に貢献したい」

(隅川俊彦)